

# 学級経営の充実に向けて

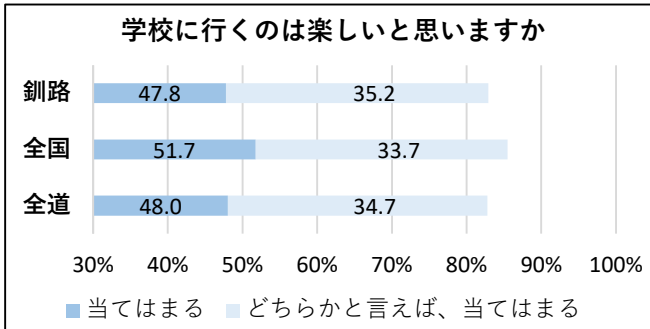
## ～全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査結果を活用して～

発行：釧路教育局教育支援課義務教育指導班

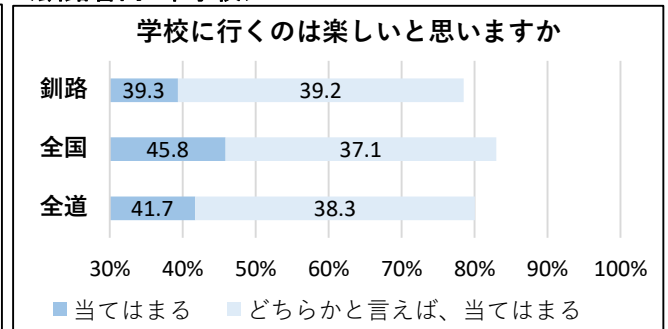
令和4年12月に改訂された生徒指導提要では、学習指導において、生徒指導の実践上の視点を生かすことにより、その充実を図っていくことが求められています。また、令和4年度管内教育の重点項目では、コミュニケーション能力の育成に向けて、望ましい人間関係を自主的に形成する態度を培う取組の充実を位置付けています。

本資料では、生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導に係り、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査の釧路管内の結果をまとめたので、学力向上に向けた取組の参考として御活用ください。

### <釧路管内 小学校>

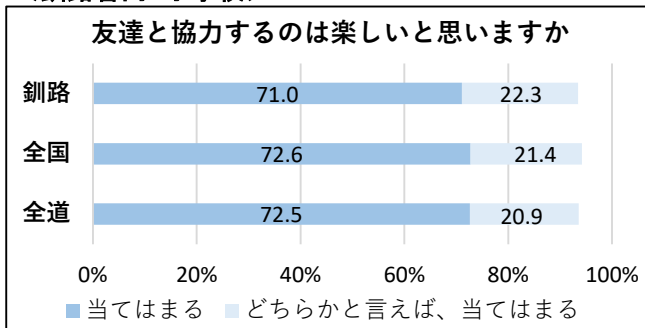


### <釧路管内 中学校>

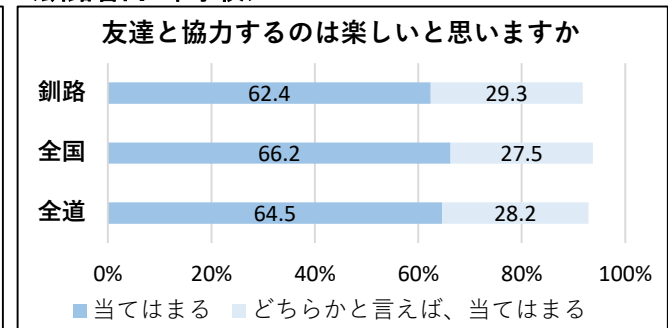


学級経営では、児童生徒自身が学級や学校生活、人間関係をよりよいものにするために、皆で話し合い、皆で決めて、皆で協力して実践することを通じて、学級の友達のよいところに気付いたり、良好な人間関係を築いたり、学級の雰囲気がよくなったりすることを実感することが大切です。釧路管内では「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的な回答をしている児童生徒が小・中学校とも80%程度となっており、全国と比較しても低い状況となっていることが分かります。

### <釧路管内 小学校>



### <釧路管内 中学校>



学級経営は、年度当初の出会いから始まる生活づくりを通して、学級集団を、共に認め・励まし合い・支え合う集団にしていくことを目指します。これは、児童生徒の居場所をつくり、失敗や間違いを通して皆で考え、支え合い、創造する集団、つまり、生徒指導の実践集団を育てることであります。釧路管内では「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の質問に対し、肯定的な回答をしている児童生徒が小・中学校とも90%を超えていますが、肯定的な回答をしていない児童生徒の日常の様子をきめ細かく把握したり、定期的な教育相談や声かけ等を行ったりすることが大切です。

### <新年度に向けて>

児童生徒同士、児童生徒と教師の人間関係づくりは、授業づくりの大きな土台です。「主体的・対話的で深い学び」の授業を実現するためには、全ての児童生徒が学習に参加でき、互いの考えを深めたり広げたりすることができる学級集団をつくるのが重要です。

上記のグラフに示した他に、「学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決する方法を決めていますか」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」などの質問項目の回答状況も参考にすることで児童生徒の状況を把握し、学級、学年集団づくりに活用しましょう。